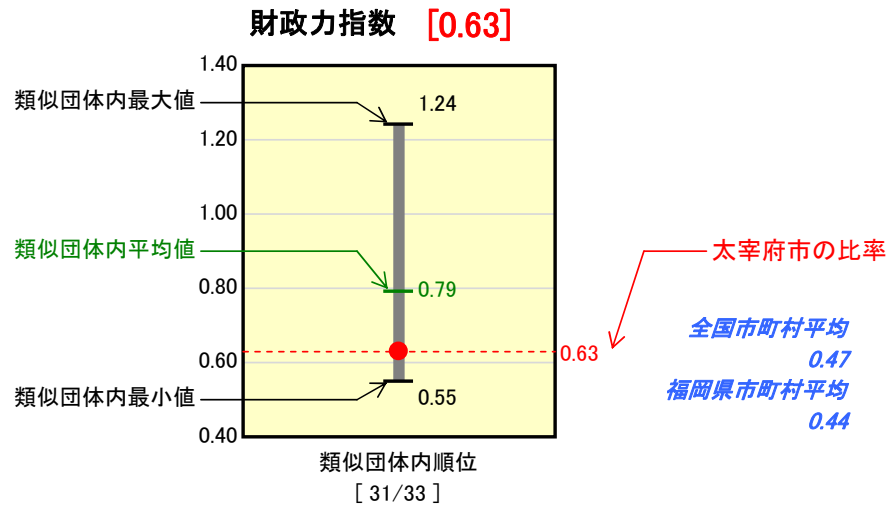


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

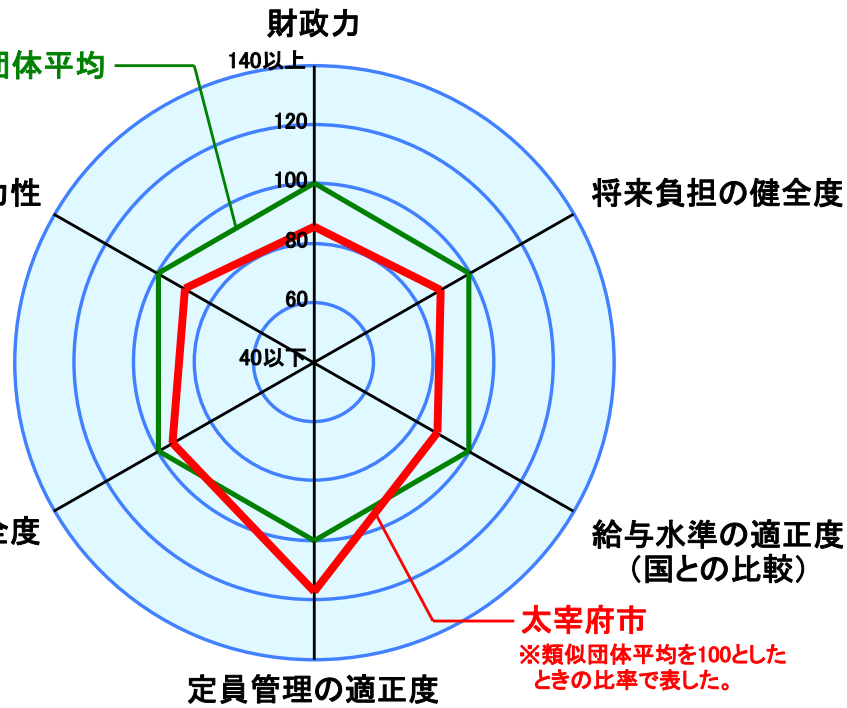
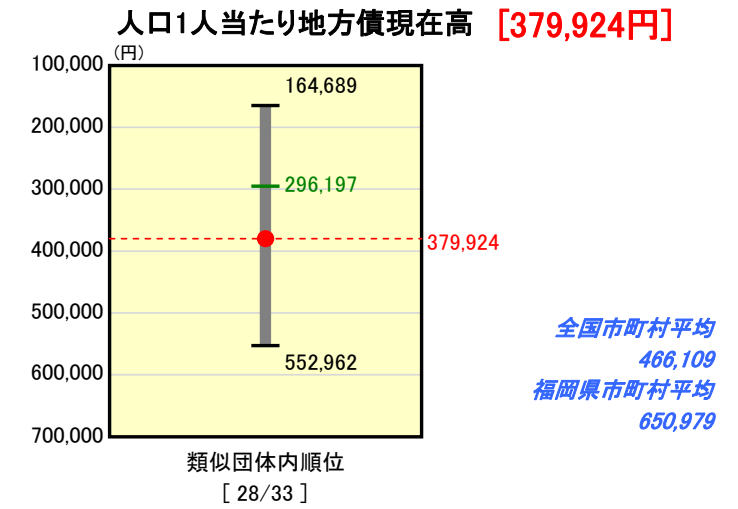
福岡県 太宰府市

| | |
|------|-----------------------|
| 人口 | 66,251人(H17.3.31現在) |
| 面積 | 29.61 km ² |
| 歳入総額 | 22,777,786千円 |
| 歳出総額 | 21,892,293千円 |
| 実質収支 | 492,931千円 |

財政力

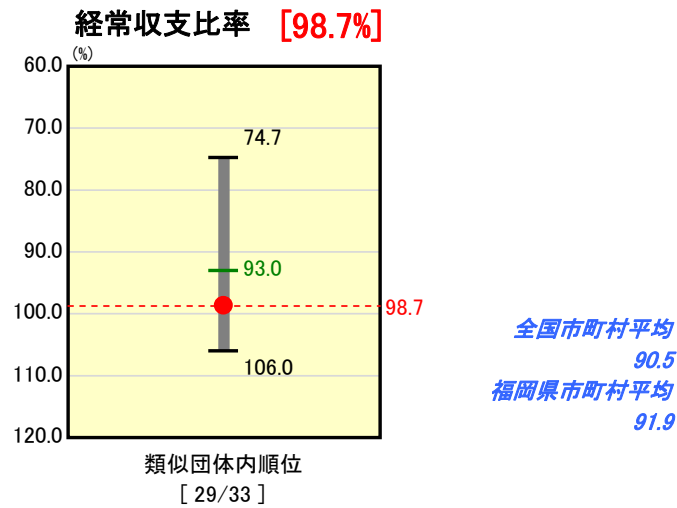


将来負担の健全度

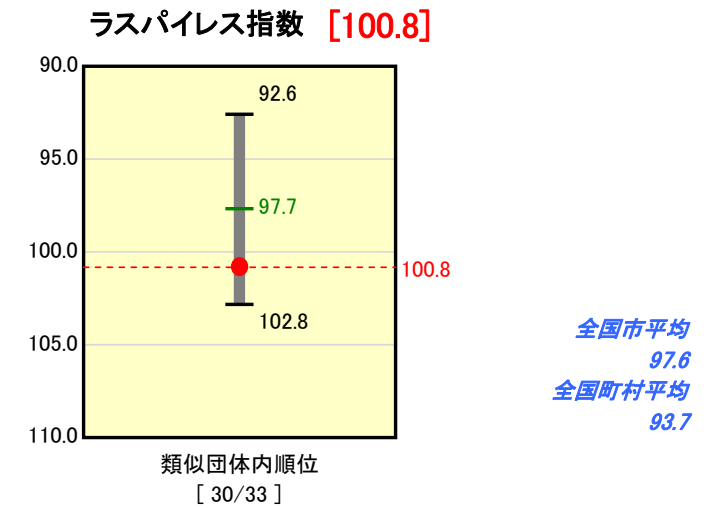


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

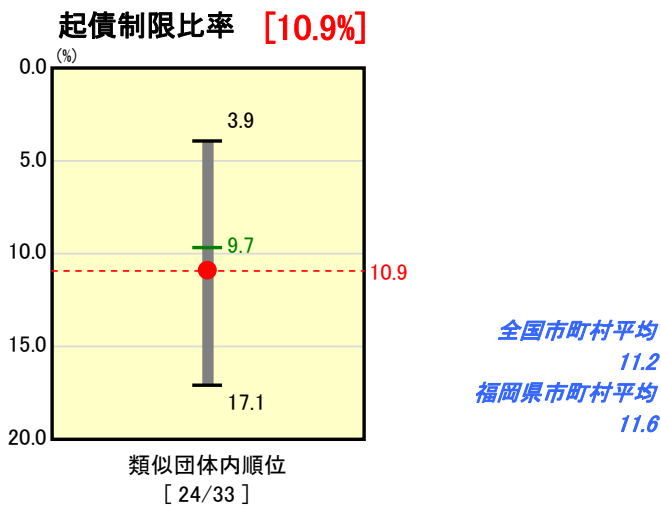
財政構造の弾力性



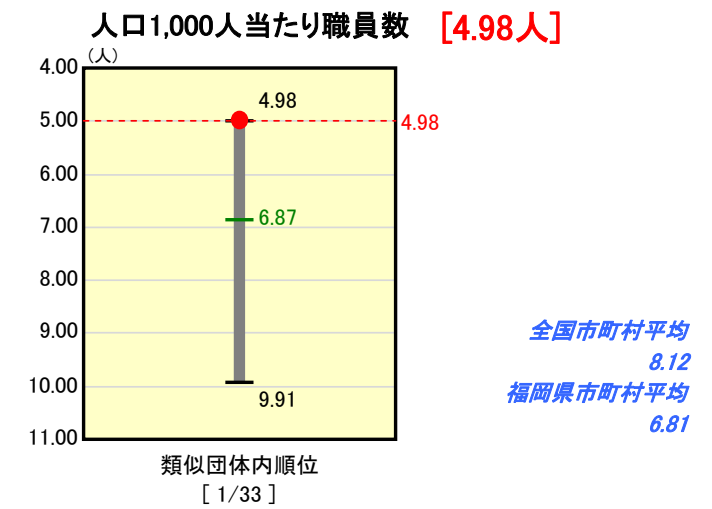
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

○財政力指数
上昇傾向にあるものの、大型事業所等が無いために、個人による税収の占める割合が大きく、その伸びは緩やかであり、類似団体平均を下回っているのが現状である。今後も引き続き事業の峻別を行う等の歳入の徹底的な見直しを実施するとともに、市税徴収率の更なる向上に向けた対策を講じ、歳入確保に努める。

○経常収支比率
扶助費や国保等への繰り出しの増加、及び公債費の増加等により98.7%と類似団体平均を上回っている。今後は行政評価システムの導入による、全ての事業の徹底的な見直しや、組織・機構・施設管理運営方法、職員給与の見直し等行政改革を推進し、一般財源の減少する中で身の丈にあった行政運営を推進する。

○起債制限比率
普通建設事業費に係る起債の償還や、市域の約15%を占めている史跡地を公有化するための本市特有の起債等から、類似団体平均をやや上回っているのが現状である。今後は前述の行政改革の中で大型投資事業の適切な取捨選択を行い、新規発行の抑制に努めていく。

○人口1人当たり地方債現在高
類似団体を上回っており、現在上昇傾向にある。前述までの対応と併せて、類似団体平均の水準となるように努める。

○ラスパイレス指数
年功的な給料表の運用及び高度経済成長時期における職員の採用による高齢職員の増加、新規採用抑制策による若年層職員の減少という問題から、職員構成のバランスが悪くなり、その結果給与水準を高める結果となっている。今後、人事考課制度の導入を図り、昇給・昇格基準の見直し等を行うことにより、給与の適正化に努める。

○人口1,000人当たり職員数
定員適正化計画に基づく定年退職者の不補充、学校給食等の民間委託により、類似団体平均を大きく下回っている。平成18年度から新たな定員適正化計画を策定し、行政評価(事務事業評価)による事業の見直し、指定管理者制度の導入、民間委託の推進等により、新地方行革指針(総務省)に掲げられている4.6%を上回る数値を目標とし、更なる定員の削減を行い、より適正な定員管理に努める。